

診療科の垣根を越えて実習

2021年2月15日から1か月間、柏崎総合医療センターで総合診療学の臨床実習をさせて頂きました。

様々な症状の患者さんの問診や診察を行い、検査内容や今後の方針を考えることが出来るのは総合診療実習ならではの思い、その実習が2021年から開始されると聞いたときは、是非ともやらせて頂きたいと思って応募致しました。実際、期待以上の経験をさせて頂くことが出来たと思っております。

初日、柏崎総合医療センターに伺うとまず、実習内容について興味のあることや、行いたいことを聞いて下さいました。特に、コロナ禍で臨床実習Ⅰでの実習が制限されていたこともあり、実習できた科が偏ってしまっていた私にとって希望していた各科での外来実習や、特に興味があった産婦人科での手術見学を多く入れてくださったのはとても嬉しかったです。相田院長先生、長谷川先生、丸山先生はその後も毎日気にかけてくださり、その都度希望を申し上げるとすべて叶えて下さいましたので、悔いのない1か月になりました。

外来実習では、初めは慣れない部分もありましたが、担当の先生に導いて頂きつつも問診や診察を自分自身で行うことができ、まさに私のやりたかった実習が出来たように思います。先生方はどなたもとても教育熱心で、お忙しい中私のために親身になって教えて下さいました。科の垣根を越えて面白い症例があると紹介して下さい、毎日とても充実しておりました。

例えば、循環器内科の井田先生は、発作性上室性心拍の患者さんの不整脈が薬を投与すると、ずっと治る所を見せて下さいましたが、その変化はとても印象深く、やはり実際見せて頂ける、というのは貴重な経験だと改めて思いました。科の垣根を越えて実習させて頂けるというのは大学病院では不可能なことですし、熱心な先生方が揃っている柏崎ならではのことなのだと思います。

希望していた産婦人科の手術見学では特に分娩の見学を希望しておりましたが、タイミングにも恵まれて何回も見学させて頂けてとても嬉しかったです。

1日ではありましたが、診療所での実習も入れてくださって、さらに地域に密着した医療をみることも出来ました。自ら1人1人の血圧を測り、親身になって診療する小川先生の姿はとても印象的で、私も患者さんの心にも寄り添える医師になりたいと改めて思いました。

病院外でも、車がない私に自転車まで用意して下さい、沢山行動することが出来ました。1週目に丸山先生に伺ったとみ家の海鮮丼がどうしても食べたくて、徒歩で約1時間かかる場所、自転車ですぐにたどり着くことが出来ました。(その他もおいしいお店が

沢山あり、食の面でもとても充実していました。)

又、事務の柴野さんはいつも親身になって下さり、用事が特になくても話しかけたくなくなってしまう大好きな存在でした。院内に同期がいない実習ではありましたが、寂しい思いをすることもなく過ごすことができたのは、皆様のお心遣いがあったからに他なりません。

まとまりのない文章になってしまいましたが、1か月を通して本当に多くの経験をさせて頂いて、期待以上の1か月だった、ということが伝わっていれば幸いです。温かく迎えてくださり、充実した1か月を経験させてくださった柏崎総合医療センターの皆様、この機会を下さった新潟大学医学部の総合診療学講座の上村先生、馬場先生はじめ皆様に改めて、感謝申し上げます。